

(1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	健康いせはら21 (第3期)計画推 進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 看護学科 三橋 祐子 講師	平成30年度から令和4年度までを計画期間とする健康いせはら21計画(第3期)をより効果的に推進するための会議を実施する。	期日 ①令和2年12月(予定) ②令和3年2月(予定)
						場所 ①書面会議 ②オンライン会議(Zoom予定)
						内容 ①市民意識調査・事業評価報告 ②中間評価
						参加者数 -
						成果及び課題 -

(2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	災害時医薬品の 供給業務	継続	企画部 危機管理課	医学部付属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定に基づき、災害時医薬品の備蓄・管理を行う。	期 日 通年
						場 所 市内7箇所医療救護所
						内 容 災害時医薬品管理及び更新
						参加者数 延べ10名
						成果及び課題 災害時医薬品の適正管理ができた
2	認知症に関する 医療と介護の連 携	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 瀧澤 俊也 教授	地域包括支援センター・医師会・認知症疾患医療センター(東海大学病院)、市により、認知症にかかる医療と介護の連携を強化する。	期 日 令和2年10月26日
						場 所 オンライン会議
						内 容 湘南西部地域の認知症関連事業等の情報交換
						参加者数 32人
						成果及び課題 湘南西部地域の認知症関連事業等の情報について共有された
3	ライフケアセン ターとの包括的な 健康づくり事業	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎 泰弘 教授	健診未受診の方を健診受診につなげるための健康バス等の事業を実施し、市民の健康増進を推進する。	期 日 令和2年9月24日,10月13,22日,11月10,19日,12月11日,1月26日,2月19日 計8回
						場 所 各自治会館等
						内 容 骨量・体組成・血管年齢測定 他
						参加者数 167名
						成果及び課題 健診未受診者に健診受診勧奨ができた
4	伊勢原市派遣型 救急ワークステー ション	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	救急隊を病院に派遣し救急救命士の再教育を行うと併に、医師同乗で出動し救命率の向上を図る。	期 日 令和2年7月3日～令和3年3月26日 平日毎日(9時～16時)
						場 所 東海大学医学部付属病院高度救命救急センター
						内 容 救急救命士の再教育と医師・看護師同乗で出動し医師の指導の下、救命処置の実施
						参加者数 救急隊員(297名)医師・看護師(198名) 合計 495名
						成果及び課題 WSで76件出動。中等症・重傷者の55名が早い段階で医療介入し、治療が開始されている
	小児看護学実習 I	中止	子ども部 子ども育成課	医学部 看護学科	看護師資格の取得に向け、公立保育所での現場実習を実施する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
	救急車同乗実習	中止	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英 教授	現場救急医療から 院内医療への救命 リレーの重要性を学 習する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -

(3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	伊勢原市第5次 総合計画 後期基本計画 施策評価委員会	新規	企画部 経営企画課	健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	市の行財政運営の 点検を行い、伊勢原 市行財政改革推進 計画の進捗状況に ついて意見を述べ る。	期 日 令和2年11月24日 12月22日、令和3年1月26日、2月24日、3月26 日（予定） 場 所 全員協議会室など 内 容 ・委員委嘱 ・第5次総合計画後期基本計画の概要説明 ・外部評価の実施方法・スケジュール など 参加者数 10名 成果及び課題 専門的知見から意見等をいただいた
2	伊勢原市行財政 改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課	政治経済学部 政治学科 中村 隆志 講師	市の行財政運営の 点検を行い、伊勢原 市行財政改革推進 計画の進捗状況に ついて意見を述べ る。	期 日 令和2年8月26日、11月24日 令和3年2月、3月（予定） 場 所 2C会議室 内 容 ・令和元年度活動報告 ・公共施設等総合管理計画実施計画の取組 ・第5次行財政改革推進計画の中間見直し など 参加者数 8名 成果及び課題 専門的知見から意見等をいただいた
3	伊勢原市情報公 開審査会	継続	総務部 文書法制課	健康学部 健康マネジメント学 科 堀越 由紀子 教授 (特任)	情報公開請求の諾 否決定に対する審 査請求や情報公開 制度の在り方に 関し、市長などから の諮問に応じて調 査審議し、その結果 を報告する。	期 日 令和2年12月1日（予定） 場 所 伊勢原市役所 議会第3委員会室 内 容 ・委嘱状委嘱式 ・第1回会議 参加者数 5名 成果及び課題 専門的知見から意見等をいただく（予定）
4	伊勢原市個人情 報保護審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	個人情報の開示請 求の諾否決定に 対する審査請求に 関する市長などから の諮問に応じて調 査審議し、その結果 を報告する。	期 日 審査請求案件等が上がった場合に随時開催 場 所 - 内 容 - 参加者数 - 成果及び課題 -
5	伊勢原市人権施 策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	伊勢原事務部 伊勢原人事課 桑久保 ひとみ 課 長 法学部 法律学科 押久保 倫夫 教授	本市が展開・実施す る各種人権施策に ついて、評価・点検 等を行い、人権施策 の総合的推進を図 る。	期 日 令和2年12月（予定） 場 所 伊勢原市役所 内 容 性の多様性に関するWebアンケート結果について 他 参加者数 - 成果及び課題 -

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
6	伊勢原市いじめ 問題再調査会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	-	いじめ防止対策推 進法の規定による調 査の結果について、 市長の諮問に応じ て調査し、その結果 を答申する。	期 日 未定
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 ※委員の推薦はいただいているが、コロナ禍で会 議を開催することができず、今に至っており、委嘱 ができていない状況
7	伊勢原市男女共 同参画推進委員 会	継続	市民生活部 人権・広聴相 談課	医学部付属病院 診療技術部栄養科 後藤 陽子 科長補 佐	男女共同参画社会 の形成をめざした伊 勢原市民のネット ワーク化や男女共 同参画行政の総合 的な推進を図る。	期 日 令和2年6月4日～8月12日
						場 所 書面会議
						内 容 第2次伊勢原市男女共同参画プラン令和元年度施 策点検・評価
						参加者数 -
						成果及び課題 成果及び課題：専門的分野の知識や経験による意 見をいただいた。
8	伊勢原市環境対 策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 立道 昌幸 教授	環境基本計画の年 度報告書など環境 対策に関する重要 な事項を調査審議 する。	期 日 令和2年11月12日
						場 所 市役所本庁舎 2C会議室
						内 容 第二次伊勢原市環境基本計画令和元年度報告
						参加者数 10名
						成果及び課題 専門的見地からご意見をいただいた。
9	伊勢原市清掃美 化審議会	継続	経済環境部 環境美化セン ター	教養学部 人間環境学科 勝田 悟 教授	清掃に関する制度 の改善整備及び清 掃美化に関する根 本的対策を調査審 議する。	期 日 令和2年10月19日
						場 所 中央公民館
						内 容 ・ゴミ排出量について ・伊勢原市災害廃棄物等処理計画(案)について
						参加者数 9名
						成果及び課題 専門的見地から、清掃美化審議会にて意見等をい ただいている。
10	伊勢原市社会福 祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 医学科 瀧澤 俊也 教授 健康科学部 社会福祉学科 東 奈美 准教授	市長の諮問に応じ て社会福祉に関す る事項について、調 査及び審議を行う。	期 日 ①令和2年10月27日(火)、②11月24日(火)、③2 月上旬(予定)
						場 所 市役所議会全員協議会室
						内 容 福祉関連計画に関する審議
						参加者数 ①15人、②12人、③ -
						成果及び課題 専門的見地から福祉関連計画策定に係る審議を いただいた。
11	伊勢原市成年後 見・権利擁護推 進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教 授	成年後見制度の利 用促進及び伊勢原 市成年後見・権利擁 護 推進センターの 適正な事業運営に 関する事項につい て、検討する。	期 日 ①令和2年7月28日(火)、②令和2年10月15日 (木)、③令和3年1月26日(火)(予定)
						場 所 ①市役所議会全員協議会室、②市民文化会館練 習室1、③市役所全員協議会室
						内 容 成年後見制度利用促進基本計画策定に関する審 議及び伊勢原市成年後見権利擁護推進センター 事業に関する助言等
						参加者数 ①8人、②7人、③ -
						成果及び課題 専門的見地からご意見をいただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
12	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学 科 妻鹿 ふみ子 教授	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期 日 令和3年1月中旬(予定)
						場 所 -
						内 容 第4期伊勢原市地域福祉計画関連施策の取組の評価(予定)
						参加者数 -
						成果及び課題 -
13	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学 科 中野いずみ教授 健康学部 健康マネジメント学 科 市川 享子 講師(特任)	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期 日 毎月3回(第2金曜日、第1火曜日、第3火曜日)
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
						参加者数 5名
						成果及び課題 専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。
14	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント学 科 菅野 和恵 准教授	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期 日 令和2年7月7日、12月11日、令和3年1月26日(予定)、2月8日(予定)
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 ・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
						参加者数 20名程度(協議内容により変更あり)
						成果及び課題 各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができている。
15	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 山本 賢司 教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期 日 令和3年2月予定
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 第1期伊勢原市自殺対策計画の点検評価
						参加者数 13名
						成果及び課題 専門的な意見や指摘をいただき、計画の点検評価及び検討ができている。
16	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学 科 西村 昌記 教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期 日 令和2年5月26日(書面会議)、令和2年8月13日、令和2年10月29日(欠席)、令和2年11月26日、令和3年1月28日(予定)
						場 所 市民文化会館練習室 他
						内 容 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画関連事業 他
						参加者数 各回12名程度
						成果及び課題 専門的見地から介護保険運営についての意見等をいただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
17	伊勢原市介護認定審査会	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部内科学系リウマチ内科学 佐藤 慎二 教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。 【任期】 平成31年4月1日～令和3年3月31日	期 日 【実施済み】30回 ※令和2年11月末時点 【今後実施予定】30回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員は8合議体に所属し、月1回出席する。 (審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる)
				医学部付属病院看護師 鈴木 美紀 主任		場 所 伊勢原市役所 レストラン棟会議室等
				医学部付属病院看護師 堤 千加子 主任		内 容 介護保険法に基づき、要介護(要支援)認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。
				医学部リハビリテーション技術科 池尻 正枝 科長補佐		参加者数 委員4人
				医学部リハビリテーション技術科 中里 友哉 係長		成果及び課題 専門的見地から意見等をいただいている。
				健康学部健康マネジメント学科 阿部 正昭 教授		
				健康科学部社会福祉学科 船水 浩行 教授		
				医学部看護学科 庄村 雅子 教授		
				医学部看護学科 小椋 正道 准教授		
18	高齢者虐待対応緊急作業会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント学科	高齢者虐待対応の中で、虐待と認定された後、緊急性の判断をしたり、具体的支援方法、支援期間を設定するため、会議を開催する。	期 日 未実施 ※ケース対応に専門的見地から意見をいただくため、必要に応じて依頼
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
19	伊勢原市在宅医療と介護連携推進会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 看護学科 岡部 明子 准教授	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域における医療と介護の関係機関が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療と介護サービスを提供する体制構築を推進するため会議を開催し、課題に対する対策を検討する。	期 日 令和2年6月24日、10月21日、令和3年1月13日(予定)
				医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子 室長		場 所 伊勢原シティプラザ
						内 容 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制や医療介護関係者の研修、地域住民向け講演会等について検討する。
						参加者数 16名
						成果及び課題 各委員から、医療及び介護の専門的見地からの意見等をいただいた。
20	伊勢原市地域医療連絡会	継続	保健福祉部 健康づくり課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	安心できる医療・保健の実現を目指し、地域医療のあり方等について研究・調整を行う。	期 日 未定
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
21	伊勢原市国民健康保険運営協議会	継続	保健福祉部 保険年金課	健康科学部 社会福祉学科 東 奈美 准教授	国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する。	期 日 令和2年11月17日、令和3年3月末(予定)
						場 所 第1回は書面開催
						内 容 国民健康保険の財政運営状況について
						参加者数 9名
						成果及び課題 国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見等をいただいた

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
22	伊勢原市スポーツ推進審議会	継続	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部 学部 長 沓澤 智子 教授 体育学部生涯スポーツ学科 野坂 俊弥 教授	市民生涯スポーツ推進基本計画に基づき、市民が主体の生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツ活動の推進策などを審議する。	期 日 令和2年8月28日、12月（予定） 令和3年2月（予定）
						場 所 伊勢原市役所 2C会議室
						内 容 スポーツ関係団体補助金額やスポーツ賞被表彰者の審議など
						参加者数 10人
						成果及び課題 専門的な見地から意見等をいただく
23	伊勢原市子ども・子育て会議	継続	子ども部 子ども育成課	健康学部 健康マネジメント学科 菅野 和恵 准教授	子ども・子育て支援事業計画に関する進行管理、教育・保育施設等に関する事項を審議する。	期 日 令和2年12月に第1回開催予定 以降の予定は未定
						場 所 書面開催（新型コロナウイルスの影響により書面開催に変更）
						内 容 第1期伊勢原市子ども・子育て支援事業計画の実績報告
						参加者数 13名
						成果及び課題 -
24	伊勢原市要保護児童対策地域協議会	継続	子ども部 子ども家庭相談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子 室長	子どもを守る地域ネットワーク構成員と連携強化を図り、児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応について取り組む。	期 日 令和2年7月3日、7月17日
						場 所 シティプラザふれあいホール
						内 容 要保護児童対策地域協議会の令和元年度活動実績報告及び令和2年度取組方針等の協議。
						参加者数 22名
						成果及び課題 地域における医療機関の立場から専門的助言を戴いた
25	伊勢原市都市計画審議会	継続	都市部 都市政策課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	都市計画案件に関する審議等を行う。	期 日 令和2年10月2日
						場 所 議会全員協議会室
						内 容 (1)伊勢原大山インターチェンジ周辺地区の市街化区域編入に係る関連都市計画の変更等について (2)伊勢原都市計画生産緑地地区の変更について (3)特定生産緑地の指定について (4)伊勢原市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例第15条第1項の許可について
						参加者数 11人
						成果及び課題 委員の委嘱と、都市計画の案等の事項に関して協議し、答申を頂いている。
26	伊勢原市まちづくり審議会	継続	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子 准教授	市民等が主体のまちづくり活動の推進及び支援並びに開発事業の協議調整、また、景観まちづくりに関する審議を行う。	期 日 令和2年8月19日
						場 所 書面通知
						内 容 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮し、会議は開催せず書面による委嘱手続き及び、情報提供を行った。
						参加者数 7人
						成果及び課題 委員の委嘱及び、情報提供
27	伊勢原市下水道運営審議会	継続	土木部下水道経営課	政治経済学部 経営学科 松原 沙織 教授	受益者負担金、下水道使用料、下水道の運営について審議するほか、下水道事業の運営に関する事項を調査・研究する。	期 日 令和2年11月25日
						場 所 アクアクリーンセンター
						内 容 令和元年度決算及び受益者負担金の概要
						参加者数 10人
						成果及び課題 -

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
28	伊勢原市文化財 保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担 当	文学部 歴史学科考古学専 攻 北條 芳隆 教授	教育委員会の諮問 に応じて、文化財の 指定、その指定の解 除、保存及び活用 に関する専門的、技 術的事項を調査審 議し、教育委員会に 建議する。	期 日 令和2年9月9日 令和3年3月(予定)
						場 所 第3委員会室
						内 容 伊勢原市文化財保護活用地域計画の作成につい て等。
						参加者数 5名
						成果及び課題 専門的見地から意見等をいただいた
29	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	課程資格教育セン ター 教育学研究室 古里 貴士 准教授	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 令和2年7月10日、11月20日 令和3年3月(予定)
						場 所 中央公民館会議室A
						内 容 社会教育全般について意見を述べる。
						参加者数 10名
						成果及び課題 専門的見地から意見等をいただいた
30	伊勢原市立子ども 科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ども 科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日 令和3年2月頃(予定)
						場 所 書面開催(検討中)
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
	伊勢原市いじめ 問題専門調査会	中止	教育部 教育指導課	医学部外科学系 救命救急医学 市村 篤 講師	いじめ防止対策推 進法に基づく、い じめの防止等のた めの対策及び重大 事態についての調 査を行う。	期 日 市村講師が東海大学の所属ではなくなったため、 当該項目から削除
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -

(4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	いきいき健康講 座	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎 泰弘 教授	地域住民を対象と した生活習慣病予 防講座を開催。	期 日 令和2年9月2日～令和3年2月24日
						場 所 市民文化会館 等
						内 容 運動機能測定会と東海大学医学部医師等による 講話
						参加者数 294
						成果及び課題 クルリン健康ポイント事業の中で実施中
2	伊勢原市クルリン 健康ポイント事業	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康科学部長 沓澤 智子 教授 医学部 医学科 西崎 泰弘 教授	普段運動をあまり行 わない方や、健康づ くりには興味があっ ても、行動に移せな い市民等を対象に、 健康ポイント制導入 による運動・スポー ツプログラムを行 い、楽しみながら気 軽に参加できる健康 増進の環境を提供 する。	期 日 令和2年9月2日～令和3年2月24日
						場 所 市民文化会館 等
						内 容 運動機能測定会と東海大学医学部医師等による 講話
						参加者数 294
						成果及び課題 現在実施中

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
	子育てサポーター、ファミリー・サポート・センター支援会員研修会	中止	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 杉村 篤士 講師	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー
	いせはら市民大学講座(社会教育課と共催)	中止	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 未定	福祉政策の推進に必要な人材育成を着実に進めるため、地域福祉に関する研修講座を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー
	東沼目安心見守り隊	中止	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授	東沼目自治会でやっている見守り活動に生徒が参加し、地域の支え合い活動について理解を深める。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー
	市民公開講座	中止	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	地域住民を対象とした公開講座を開催する。(テーマは未定)	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー
	総合型地域スポーツクラブ運営事業	中止	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部 学部長 沓澤 智子 教授	市民の体力・健康増進を図るため、年間を通して、月1～2回のスポーツ教室を5種目と看護・社会福祉・スポーツ運動講座を設け、市民の継続的な運動・スポーツ活動の展開を推進する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー
	大学開放講座	中止	教育部 社会教育課	健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 ー 内 容 ー 参加者数 ー 成果及び課題 ー

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
	市民のための図書館教養講座	中止	教育部 図書館・子ども科学館	中央図書館 図書課	市民の読書欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
	科学実験教室	中止	教育部 図書館・子ども科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦 教授	身近な材料を用い実験・工作を通して、科学に対する興味をもってもらい講座を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

(5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 橋本 佳典 教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 令和2年10月16日
						場 所 書面開催
						内 容 事業実施状況報告等
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
	TOKAIグローバルフェスタ湘南マルシェ出店	中止	経済環境部 商工観光課（観光協会） 教育部 教育総務課 歴史文化担当	地域連携センター 地域連携課	東海大学湘南キャンパスに特産品を販売・PRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
	東海大学伊勢原校舎物産展	中止	経済環境部 商工観光課（観光協会）	観光学部 観光学科 伊勢原総務課	東海大学医学部付属病院に推奨みやげ品等の販売スペースを開設し、物産品を販売する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
	道灌まつりポスターデザイン	中止	経済環境部 商工観光課	地域連携センター 所長 教養学部 芸術学科 池村 明生 教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
	第52回伊勢原観光道灌まつりに係る「市民安全・安心パレード」	中止	経済環境部 商工観光課	東海大学吹奏楽研究会	交通安全関係者及びボーイスカウト等とパレードを行い、交通安全等と呼びかける。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
	丹沢湘南観光連携会議	中止	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	未定	伊勢原市、秦野市、平塚市、大磯町、二宮町、中井町、湘南地域県政総合センター、東海大学観光学部によりツアー企画などの会議を開催する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

(6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）	
1	風水害に関する 学術研究への支 援	継続	企画部 危機管理課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝 教授	風水害HM更新に伴い、技術的な助言等を得ながら、更新を図りたい。	期 日	令和2年5月26日
						場 所	大場田橋
				工学部 土木工学科 杉山 太宏 教授	市内の二級河川に対して水位計の増設を依頼し、地域の災害特性に応じたきめ細やかな早期避難体制の構築を図りたい。	内 容	県の許可を得て鈴川(大場田橋)に簡易水位計を設置し、インターネットを通じてリアルタイムで河川水位の状況がわかるようになった。
						参加者数	-
						成果及び課題	継続的に水位観測を実施し、今後の避難判断データとして活用していく。

(7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	東海大学嬌恋高原研修センター施設利用に係る覚書	継続	企画部 経営企画課	総務部人事課	群馬県吾妻郡嬬恋村にある「東海大嬌恋高原研修センター」について、伊勢原市民が東海大学関係者と同じ割引価格で利用できる覚書を締結し、利用促進の広報等を実施する。	期 日 通年
						場 所 ー
						内 容 市民等の申込みにより、センターの宿泊場所及び付随施設を提供することを目的として、令和2年4月1日に覚書を締結した。
						参加者数 ー
						成果及び課題 新型コロナウイルスの影響により、当初令和2年4月に予定していた市HPでの公開を見合わせている状況。当該公表時期については、要検討。
2	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	継続	教育部 図書館・子ども科学館	中央図書館 図書課	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日 随時
						場 所 伊勢原市立図書館及び東海大学付属図書館
						内 容 両図書館の資料の閲覧・貸出
						参加者数 ー
						成果及び課題 東海大学附属図書館の市民利用については新型コロナウイルス対策により無期限で利用休止中。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
3	伊勢原市教育センター研究発表会	継続	教育部 教育センター	伊勢原総務課	教育センターの研究 成果発表のため、 ICT機器の環境が 整った東海大学伊 勢原キャンパス講 堂Aを利用する。	期 日 令和2年8月に、東海大学伊勢原キャンパス講堂Aを借りて開催予定だったが、コロナ状況により、研究発表会を中止とした。
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

(8) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
1	大山参道旅館街創生プロジェクト	新規	企画部 経営企画課 経済環境部 商工観光課	KWC	従来の観光(登山、参拝)に、ウェルネス(サウナ)を取り入れた新たな取組を検討する。	期 日 令和2年8月～
						場 所 大山
						内 容 大山参道旅館街を再興することを目的とし、大山登山、参拝後に、先導師旅館に宿泊する宿泊者に対し、サウナを提供する。
						参加者数 ー
						成果及び課題 観光庁の補助金「誘客多角化等のための魅力的な潜在コンテンツ造成実証事業」は未採択となった。
2	次期伊勢原市総合計画策定市民ワークショップ	新規	企画部 経営企画課	学生	次期総合計画策定に向けたワークショップの実施	期 日 令和3年3月(予定)
						場 所 未定
						内 容 次期総合計画策定プロセスにおける市民参画の一環として、学生がワークショップに参加する。
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
3	伊勢原市平和史料収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	キャリア就職センター所長 文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光 教授	平和史料収集事業(平和史料展示、史料のデータベース化、平和ドキュメンタリー映像制作等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をするとともに、撮影等については学生に協力をしてもらう。	期 日 令和2年10月15日～令和3年2月中旬
						場 所 比々多地区
						内 容 平和ドキュメンタリー映像制作事業における新機軸の企画立案
						参加者数 東海大学生5名 指導教授1名
						成果及び課題 ひとつの地区の石造物や寺社、学校等への取材を通じて、資料やエピソードを収集し、平和ドキュメンタリー映像を制作する。 第1弾は比々多地区。貞晃寺、三之宮比々多神社、比々多小学校での撮影を令和2年12月中に行い、年度内の完成をめざす。シリーズ化し、今後、地区ごとに映像を制作する予定。平和ドキュメンタリー映像制作事業の新機軸とする。 平和な風景の中にも、過去の戦争の記憶が眠っていることを伝える作品とする。
4	治験審査委員会(病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会 未定	治験に先立って治験の安全性と理論性の審査を行う。	期 日 令和2年4月～令和3年3月
						場 所 メール持ち回り審査(東海大学医学部付属病院)
						内 容 治験審査
						参加者数 (未把握)
						成果及び課題 治験委員会外部委員として審査

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
5	臨床研究審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部医学科 竹下 啓 教授	人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関して審査を行う。	期 日 月1回実施
						場 所 書面会議
						内 容 人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関しての審査
						参加者数 審査委員21名(市は2名)
						成果及び課題 臨床研究の審査が適正に行われた
6	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 未定
						場 所 ー
						内 容 効率的かつ安定的な運航を行うための調整及び検証
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
7	東海大学医学部付属病院ドクターヘリ運営委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	東海大学医学部付属病院での救急体制に関する検討を行う。	期 日 未定
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
8	健康いせはらサポーター養成講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿 ふみ子 教授	健康いせはらサポーター養成のための講習会を行う。	期 日 中止
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
9	東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院長 医学部医学科 渡辺 雅彦 教授	病院の医療安全管理業務が適切に遂行されていることを確認するため、監査委員の立場から、必要な意見・助言を行う。	期 日 未定
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー
10	東海大学地域の課題解決推進会議	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部長 堀 真奈美 教授	地域における民産官学が連携し、地域の健康課題の具体化及び潜在的な市民ニーズを明らかにし地域の健康課題の解決を推進する。	期 日 未定
						場 所 ー
						内 容 ー
						参加者数 ー
						成果及び課題 ー

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
11	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	学生	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日 令和2年9月9日（水）～令和3年3月末日
						場 所 伊勢原小学校、石田小学校、竹園小学校、成瀬小学校、比々多小学校、大山小学校、桜台小学校
						内 容 工作教室、科学実験、スポーツ体験、人形劇、自主学習など
						参加者数 伊勢原小学校:73人、石田小学校:113人、竹園小学校:81人、成瀬小学校:114人、比々多小学校:54人、大山小学校:40人、桜台小学校:93人
						成果及び課題 放課後子ども教室の運営を支援するボランティア募集を計画していたが、コロナ禍の影響により、従事する学生に対して募集依頼するまでには至っていない
12	伊勢原市教育委員会点検評価 （外部有識者による意見）	継続	教育部 教育総務課	文化社会学部 アジア学科 小林 元裕 教授	教育委員会所管事業の点検評価について、外部有識者の視点から意見を述べる（意見書の作成）。	期 日 令和2年7月3日 意見は9月にメールでいただいた
						場 所 市役所全員協議会等
						内 容 令和元年度教育委員会所管事業の点検評価に対する意見
						参加者数 11人
						成果及び課題 専門的見地から意見（書面）をいただいた
13	教職課程教育実習	継続	教育部 学校教育課	教育学部 資格教育課 伊勢原教学課	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 令和2年9月～11月まで
						場 所 -
						内 容 -
						参加者数 -
						成果及び課題 -
14	養護実習	継続	教育部 学校教育課	教育学部 資格教育課 伊勢原教学課	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 令和2年9月7日～10月2日 令和2年9月28日～10月23日
						場 所 山王中学校 成瀬中学校
						内 容 教育実習
						参加者数 各校1名
						成果及び課題 養護
15	学校訪問教育相談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 高橋 有記 助教 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日 第1回: 令和2年8月28日 第2回: 令和2年9月2日 第3回: 令和2年9月7日
						場 所 第1回: 大山小学校 第2回: 高部屋小学校 第3回: 竹園小学校
						内 容 不登校や多動等、集団生活にうまく適応できない児童生徒について、心理学及び医学的な側面から専門的なアドバイスを受けながら、事例研究・情報交換等を実施
						参加者数 各回15名～30名程度
						成果及び課題 専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となっている
16	ハートフルフレンド活用事業	継続	教育部 教育センター	文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授 健康学部 健康マネジメント学科 小林 理 准教授 課程資格教育センター所長 課程資格教育センター教育学研究室 朝倉 徹 教授	話し相手がいらない、仲間に入りづらい、集団活動に適応しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めてたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日 通年
						場 所 伊勢原市内小中学校
						内 容 話し相手がいらない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動
						参加者数 1名
						成果及び課題 学生にボランティア活動を行う機会を提供できている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
17	東海学級連絡協議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 小池 隆志 講師 医学部 医学科 秋山 康介 助教 伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	東海学級(院内学級)の管理・運営及び伊勢原市教育委員会と東海大学医学部付属病院との連絡・調整を行う。	期 日 第1回:令和2年5月 実施できず 第2回:令和2年11月 実施できず 第3回:令和3年3月(予定)保留
						場 所 第1回:コロナにより中止 第2回、第3回:書面会議
						内 容 東海学級での活動報告を通して、様子を確認し、情報交換を行う。
						参加者数 15名程度
						成果及び課題 東海学級の管理・運営について共通理解が促進され、東海学級の円滑な運営を図ることができている。
18	適応指導教室実習	継続	教育部 教育センター	東海大学大学院 文学研究科コミュニケーション学専攻臨床心理学系の授業の一環としての実習 【担当】 文化社会学部 心理・社会学科 中島 香澄 教授	教育センターと大学院側双方のそれぞれのねらいを達成することを目的に教育センター・適応指導教室において実習を行う。	期 日 令和2年6月～令和3年3月
						場 所 適応指導教室
						内 容 児童・生徒の抱える問題やニーズを把握した適切な支援
						参加者数 3名
						成果及び課題 適応指導教室通室児童生徒への適切な関わりを通じ適応指導教室のより良い運営を図ることができている。
	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	中止	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	デジタル移動通信システムの管理及び運用基準について確認を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
	伊勢原市総合防災訓練	中止	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 深澤 光也 課長	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	中止	総務部 職員課	インターンシップ事務局(湘南教務課)	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —
	博物館実習	中止	教育部 図書館・子ども科学館	教学部 資格教育課	学芸員資格取得のための実習を行う。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施
						場 所 —
						内 容 —
						参加者数 —
						成果及び課題 —

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（令和2年11月末時点）
	科学館フェスティ バルの教室	中止	教育部 図書館・子ど も科学館	チャレンジセンター・ サイエンスコミュニ ケーター	5月に行われる子ど も科学館フェスティ バルの中で子ども向 けの科学実験教室 を実施する。	期 日 新型コロナウイルス感染症防止のため未実施 場 所 — 内 容 — 参加者数 — 成果及び課題 —